

グリーンで 成長・変革する 社会へ



Green
Transformation
Basic Course

GX

ベーシックコース

特別の課程（履修証明プログラム）

対 象 さまざまなGX関連分野、製品・サービス等に関わられている皆様へぜひ受講していただきたいコースです。

- 「GX」「サステナビリティ」「カーボンニュートラル」「ESG」など、環境を取り巻くトレンドを学びたい
- 行政機関、各種団体等の脱炭素化プロジェクト等においてどのようなアクションが必要なのか学びたい
- 脱炭素経営、サステナビリティ経営を掲げている、または長期的に取り組んでいきたい企業の皆様
- カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー等の分野に興味がある など

申込受付中 2025 11.17 月 2026 2.20 金

※上記期間内は随時お申込みが可能です ※定員に達し次第、締め切ります

受講期間 2025 12. 1 月 2026 6.30 火

※申込時期に応じて随時受講開始

受講料 70,000 円（消費税込） **定 員** 25 名

受講時間数

67 時間

e-Learning
(Some classes are in-person) 51 時間
Field & Discussion 16 時間

信州大学

SHINSHU UNIVERSITY

GX ベーシックコース の紹介

いま、「GXを学ぶ」意義

昨今、企業や地域において、持続可能な社会の実現に向けた取り組みや事業活動が活発に行われています。その背景では、「GX(Green Transformation)」や「SX(Sustainable Transformation)」といった経済社会システム全体の変革、経営のあり方を変革する「イノベーション人材」の活躍が期待されています。

GXは、経済社会システムや産業構造の転換が求められることから、一部の産業や企業のみでの取り組みではなく、全産業界が横断的に、かつ消費者や住民の方、自治体や教育機関、金融機関等を巻き込んだ新たな地域社会・企業の成長、創造を模索し、発展するために必要なサステナビリティ活動について理解を深めていくことが必要です。

信州大学のGXベーシックコースは、

信州（長野県）の「自然資本」である地勢・地域資源を地財と捉え、環境、社会、経済の持続性や地域産業の発展を視野に入れた学びであることがポイントです。さらに、環境や社会の課題を多角的かつ本質的に把握し、新たな企業価値創造を目指すヒントとなるような体系的なカリキュラムにより、社会全体のGX推進、サステナビリティ経営を支援します。

信州大学の教育シーズ、信州のフィールドで「GXを学ぶ」

GXベーシックコース 開講にあたって

GXベーシックコース 監修者より

信州大学 グリーン社会協創機構
特任教授 夫馬 賢治
株式会社ニューラル代表取締役 CEO



いま私たちの社会は、数百年に一度というレベルの変化を迎えています。まさに産業革命以降に持続可能でなくなった人類社会にとって新しい挑戦の時代が始まりました。GXベーシックコースでは、環境サステナビリティを実現するための手段となっている「カーボンニュートラル」と「ネイチャーポジティブ」を理解し、この2つがもたらす産業の変化をいち早く見通し、新たな産業革命を先導できる人を養成するマネジメント講座です。特に信州大学の強みを活かし、環境サステナビリティの観点から本質的な地方創生を実現するためのポイントを学んでいきます。規模にかかわらず、企業、金融機関、市民団体、行政からの積極的な受講をお待ちしています。

リカレント学習プログラム 推進本部より

信州大学 副学長
(エンロールメント・マネジメント担当)
学術研究・産学官連携推進機構 教授 林 靖人



社会変化の速度は、「ドッグイヤー」「マウスイヤー」を越えて「AIイヤー」を迎え、さらに、我々は「人生100年時代」に突入しました。そのため、高校や大学卒業後も、一生涯、絶えず、学ばなければ継続的な成長やWell-beingの達成は困難となっています。

中でもGXやSX(Green / Sustainable Transformation)は、特に重要です。我々にとっては「変革」に見えますが、次世代にとっては「前提」だからです。このギャップを埋め、行動変容を支援するためにGXベーシックコースが誕生しました。GXへの社会変化は待たなしです。このメッセージに共感した皆様、一緒に学べることを楽しみにしております。

GX ベーシックコースの カリキュラムマップ

講義・講師の紹介

などは別紙パネル、
チラシ、パンフレット等を
ご覧ください

リカレント学習プログラム
推進本部ホームページ



主催：信州大学 教育・学生支援機構 リカレント学習プログラム推進本部
協力：信州大学 グリーン社会協創機構